



12V 車専用

ポータブルシェアリングデバイス

QEY box
充電タイプ

取扱説明書

ご使用前に、「安全・安心のために」(P.4 ~ P.5) を必ずお読みください。

- ・ このたびは、**QEY box** をご利用いただき、誠にありがとうございます。
※2023 年 2 月より製品名が **FREEKEY Box** から **QEY box** に変更になりました。製造時期によっては本書のイラストとラベルのデザインが異なる場合があります。
- ・ ご利用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- ・ 保安基準をお守りいただくため、取り付ける際は 「取り付け位置の確認」 (P.15) をよくお読みください。
- ・ この商品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

1. はじめに

本製品の目的

本製品は、車両のリモコンキーを格納し、スマートフォンで車外から車両の施錠・解錠を動作させることで非対面での車両の受け渡し（シェアリング）を可能とすることを目的としております。

本マニュアルの目的

本書は本製品のハードウェアの取り扱いと車両への取り付け方法の説明を目的としております。

本製品のご利用前に必ず本書をよくお読みのうえ、本製品を安全にお使いください。

本書をお読みの際は最新のマニュアルをご参照ください、予告なく改版する場合があります。

<https://digitalkey.jp/freekeybox/manual/10>



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社東海理化はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
型式：BKTA2A

1.1 本書の見方

本書は、本製品を安全に正しくお使いいただくことで、お客様や周囲の人々に危害や財産への損害を未然に防ぐことを目的として、以下の表示をしています。

本書をよくお読みのうえ、本製品を安全にお使いください。



この表示の注意事項を守らないと、火災などにより、車両への損傷や事故を引き起こすおそれがあり、最悪の場合、傷害や死亡につながるおそれがあります。



この表示の注意事項を守らないと、火災などの事故により、けが、車両や装備品の故障や損傷その他の家財などに損害を与えるおそれがあります。

1.2 誤用に関する諸注意

提供サービスおよびアプリケーションについて

本製品のご使用には専用のスマートフォンアプリケーションが必要です。ご利用のサービスの案内に従って専用アプリケーションをご準備いただき、ご利用のサービスの利用マニュアルをよくお読みのうえ、ご使用ください。

本製品を利用する車両

本製品はご注文時にご指定頂いたリモコンキーでのみご使用が可能となっております。ご指定のリモコンキー以外のご使用いただけません。

盗難

本製品は車両盗難対策を目的とする製品ではありません。非対面での鍵の受け渡し以外の目的でリモコンキーを車室内に入れたままにしないでください。使用環境などに応じて、ハンドルロックなどの車両盗難対策を実施ください。

誤用

本製品は、本書に記載されている指示に従ってのみ使用できます。本書に記載されている以外のすべての使用は、意図しない使用と見なされます。

本製品は、リモコンキーを格納し、遠隔で車両の施錠・解錠を動作させることで非対面での車両の受け渡し（シェアリング）を目的とするものです。本製品を所定の用途以外で使用しないでください。盗難防止を保証するものではありません。万が一、本製品を車両に取り付け後に事故・損害が生じて、当社は一切の責任を負いかねます。

すべての安全情報と指示をお読みください。お客様による本製品の不適切な取り扱いまたは安全指示に違反した取扱いは、当社で責任を負いかねます。

本製品は、注文時にご指定いただいたリモコンキー専用でのご使用を目的としています。異なるリモコンキーはご使用いただけません。

1.3 安全・安心のために

警告

以下の場合には故障の可能性があります。直ちにご使用を中止してご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

- ・ 本体から異臭がする。
- ・ 本体から異音がする。
- ・ 本体が発熱している。
- ・ 本体が動作しない。
- ・ 本体から漏液している。
- ・ 目に見える損傷がある。

火災や感電、交通事故の原因になります。

動作がおかしいと感じたり、破損しているのに気づいたら、直ちに使用を中止してご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。ご自身での分解・修理および改造は絶対におやめください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

以下に記載の行為は絶対におやめください。

- ・ 本製品内部に、液体や異物を入れる。
- ・ 本製品の上に乗ったり、物を載せたりする。
- ・ 本製品を火気に近づける。
- ・ 大型トラックなどの 24V 車に本製品を使用する。
- ・ めれた手で本製品に触れたり、付属ケーブルを抜き差しする。
- ・ 雨水・飲料水・雪などが付着したまま乾燥をさせずに使用する。
- ・ 端子の通電部分に手を触れたり、異物を入れる。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

本製品の近くで可燃性スプレーを使用しないでください。また、揮発性の高い引火しやすいもの（化粧品や整髪料など）を近くに置いたり本体の中に入れたりしないでください。

故障および故障による発煙や発火、火災の原因となります。

植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、本製品をお使いになる前に、9.2 Bluetooth 通信について（日本語 P.40～41）を確認いただき、医師や医療用電気機器の製造業者などに個別にご相談ください。

医療用電気機器の動作不良の原因になります。

使用前にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

ほこりの混入、故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

注意

本製品に強い衝撃を与えたり落下させたりしないでください。
変形、破損、故障による発煙や発火、火災、けがの原因になります。

本体のトレイを操作する際は強く引張ったり、押し込んだりしないでください。

破損やけがの原因になります。

本体のトレイを開いた状態で持ち運びをしないでください。

破損やけがの原因になります。

本体のトレイなどの可動部にシールなどを貼り付けしないでください。

動作不良によりトレイの開閉ができなくなる原因になります。

本製品を暖房器具の前面、直射日光の強いところなど、+ 60℃を超えて高温になる場所で使用しないでください。車内が+ 60℃を超えるおそれがある場合は、取り外して+ 60℃を超えない環境で保管してください。

変形、破損、故障による発煙や発火、火災、けがの原因になります。

本製品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。

けが、感電の原因になります。

本製品は国内専用です。日本国外の電波認証に対応していませんので、日本国外でご利用いただくことができません。

国外で使用すると電波法に違反し罰せられる場合があります。

本体にアルミシートなどの電波を遮断する素材のものを被せないでください。

動作不良により車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる原因になります。

1.4 目次

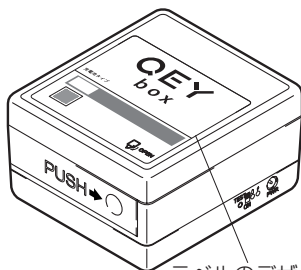
1. はじめに	2
1.1 本書の見方	2
1.2 誤用に関する諸注意	3
1.3 安全・安心のために	4
1.4 目次	6
2. 製品概要	7
2.1 内容物の確認	7
2.2 仕様	8
2.3 製品要素	9
3. 本製品のセットアップ	10
3.1 使用環境の確認	11
3.2 充電残量の確認・動作確認	12
3.3 本体の充電	13
3.4 取り付け位置の確認	15
3.5 ケーブルの配線	16
3.6 リモコンキーの格納・車両での動作確認	18
3.7 本体の固定	20
4. 標準的な使い方	22
4.1 本製品について	23
4.2 本製品で車両を貸し出す時	24
4.3 本製品で車両を利用する時	26
5. 取り外し方	28
6. 保管	30
7. メンテナンス	31
8. 故障かな？と思ったら	32
9. 利用上の注意	39
9.1 内蔵バッテリーについて	39
9.2 Bluetooth 通信について	40
9.3 本製品のご利用を終了する際のお願い	44
10. 本製品で利用しているソフトウェアライセンスについて	45

2. 製品概要

2.1 内容物の確認

本体と周辺機器が揃っていることをご確認ください。

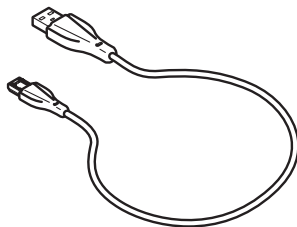
万一、不備な点がございましたら、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。



ラベルのデザインが異なる場合があります。

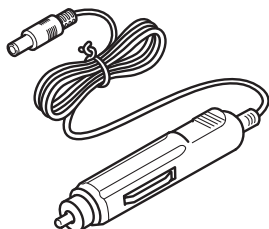
本体：1 個

リモコンキーを格納して、リモコンキーの施錠・解錠ボタン操作を行うデバイスです。



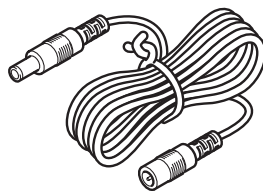
充電用 Micro USB Type-B
ケーブル (0.5m)：1 本

車内または自宅の USB 電源から本体に給電するためのケーブルです。



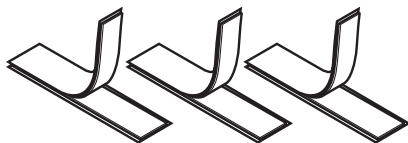
車内用充電ケーブル (2m)：1 本

車内のシガーソケットから本体に給電するためのケーブルです。



車内用延長ケーブル (3m)：1 本

車内用充電ケーブルを延長するためのケーブルです。



面ファスナー：3 セット

本体を車内に固定するために使用します。

2.2 仕様

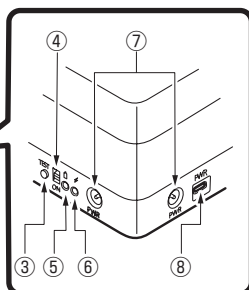
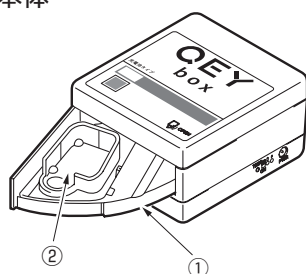
製品仕様	
定格電圧	12V
待機電力	14mW（内蔵バッテリー）
外部電力（内蔵バッテリー充電中）	最大 14W
外部電力（内蔵バッテリー充電済）	約 243mW
無線技術	Bluetooth Low Energy
無線周波数	2.4GHz ISMBand
動作温度範囲	-20℃～+60℃
最大相対湿度	最大 50%（+60℃で）
防水・防塵性能	IP31
重量	0.9kg
寸法	147 × 131 × 78mm

注意

仕様を超えた環境下での使用はしないでください。
動作不良、誤動作、故障および故障による発煙や発火、火災、感電を引き起こすおそれがあります。

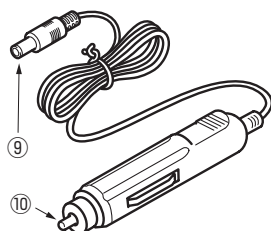
2.3 製品要素

本体

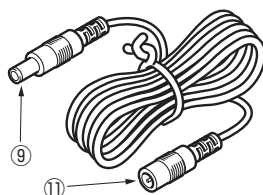


- ① トレイ
- ② キーボード
- ③ TEST ボタン
- ④ 電源スイッチ
- ⑤ LED ランプ 1(充電残量)
- ⑥ LED ランプ 2(充電状態)
- ⑦ 車内用充電ケーブル
挿し込み口 (入力: DC12V)
- ⑧ 充電用 Micro USB Type-B ケーブル
挿し込み口 (入力: DC5V)

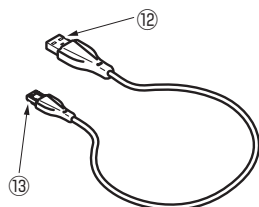
車内用充電ケーブル



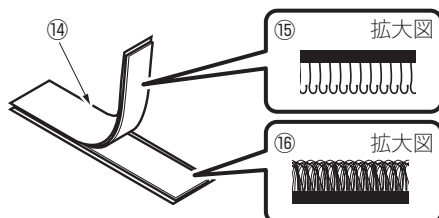
車内用延長ケーブル



充電用 Micro USB Type-B ケーブル



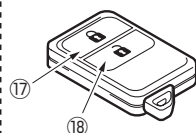
面ファスナー



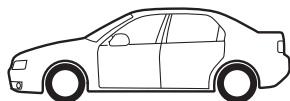
車内用充電ケーブル、車内用延長ケーブル、充電用 Micro USB Type-B ケーブル を
総称して「付属ケーブル」といいます。

点線内を除いて「本製品」と総称します。

車両メーカー純正のリモコンキー
(リモコンキーといいます)



車両



スマートフォン / タブレット

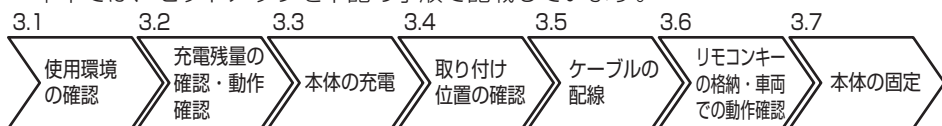


専用アプリケーション

3. 本製品のセットアップ

本製品を取り付ける際は、本書をよく読み、指定の手順、置き方に従って取り付けてください。

・本章では、セットアップを下記の手順で記載しています。



・各章の記載事項をよくお読みいただき実施してください。

※シェアリング以外の目的で、不必要にリモコンキーを車室内に入れたままにしないでください。

警告

以下のところには絶対に取り付け、配線をしないでください。

- ・ 運転席および運転席シート下、周辺
 - ・ エアバッグの動作を妨げる場所（車両の取扱説明書を参照してください）
 - ・ 座席シートの座面より高い位置
 - ・ その他運転動作、視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所
- 思わぬ事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

作業時は車両を完全に停止させ、安全な環境で作業してください。
交通事故やけがの原因になります。

以下のところには取り付け、配線をしないでください。

- ・ 直射日光のあたるところ
- ・ 水（傘の雨水など）のかかるところ
- ・ ヒーターの熱風が直接あたるところ
- ・ 発熱するものの近くや熱がこもるところ
- ・ 足で踏まれるところ

故障による発煙や発火、火災の原因となります。

注意

本製品を取り付ける際は、車両のシート下などの可動部で指や手を挟まないように充分注意してください。
けがの原因になります。

本製品を取り付ける際は、ボディ、ミラー、ドア、ステップ、シート、エアバックセンサー、その他の車両部品にぶつかけたり、擦ったりしないように注意して取り付けてください。

車の故障や不具合、エアバックの誤動作によるけがの原因になるおそれがあります。
なお、車両に故障や傷が発生した場合であっても、当社は一切の責任を負いかねます。

本製品を取り付ける際は、電子機器から距離を離して取り付けてください。
AV 機器などの電子機器と本製品の距離が近いと電波干渉により、動作に影響を与えることがあります。

3.1 使用環境の確認

・セットアップ作業を行う前に下記の確認を行ってください。

①車両の取扱説明書を確認



本製品に使用する車両およびリモコンキーの取扱説明書および使用上の注意事項をご確認の上、必ずお守りください。

②リモコンキーの動作確認



リモコンキーによるドアロック操作が正常に作動することを確認してください。

本製品を初めて使用される際や寒冷期に入る前にリモコンキーの電池を新品へ交換してください。

(推奨電池メーカー：Panasonic)

リモコンキーの電池の種類や消耗状況によっては車両温度環境の変化などによりリモコンキーが作動しないおそれがあります。

リモコンキーの電池交換方法については車両の取扱説明書をご確認ください。

③専用アプリケーション確認



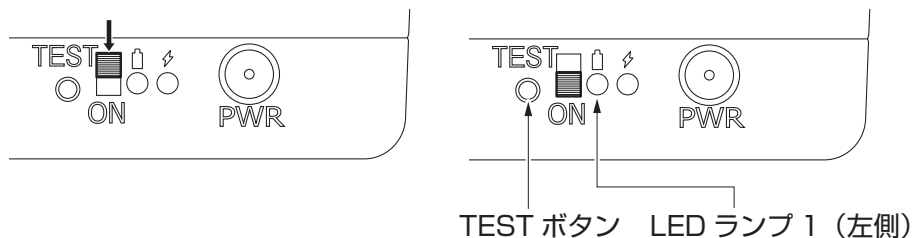
ご利用のサービスの案内に従って専用アプリケーションをスマートフォンにインストールしてください。アプリケーションについては、ご利用のサービスの利用マニュアルをご覧ください。

3.2 充電残量の確認・動作確認

● 本体の充電残量確認

下記の手順に従って、本体の充電残量を確認してください。

- ① 本体の電源を入れてください。 ② TEST ボタンを押して
LED ランプ 1 を確認してください。(※1)



LED ランプ 1 (左側)

緑色……………十分に充電された状態です。(※2)

黄、赤色…充電残量が少なくなっています。ご使用前に充電してください。
(充電する際は、P.33『3.3 本体の充電』をご参照ください。)

消灯……………充電残量が 0 です。ご使用には充電が必要です。

- (※1) LED ランプ 1 は TEST ボタンを押下していない時は一定間隔で点滅しています。
点滅時の色については TEST ボタン押下時と同様です。
(※2) 充電前に LED ランプ 1 が消灯、赤色、黄色点灯だった場合、充電開始後に LED
ランプ 1 が緑色に変わっても満充電に至っていない可能性があります。
「3.3 本体の充電」をご確認の上、十分な時間充電を実施してください。

● 本体の動作確認

下記の手順に従って、本体の動作確認を行ってください。

- ① 専用アプリの本体認識



専用アプリケーションで本体が認識されているか
確認してください。

- ② 専用アプリケーションで操作



専用アプリケーションを操作し、本体のトレイが
開閉するか確認してください。

- ※ トレイが開かない場合、再度専用アプリケーションを操作しトレイが開くか確認して
ください。

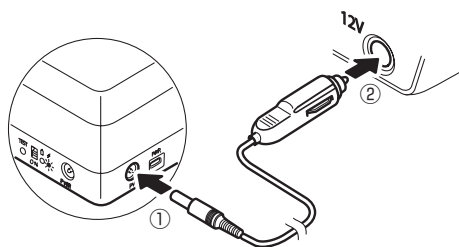
3.3 本体の充電

※満充電で 2 週間程度の使用が可能です。

●接続手順

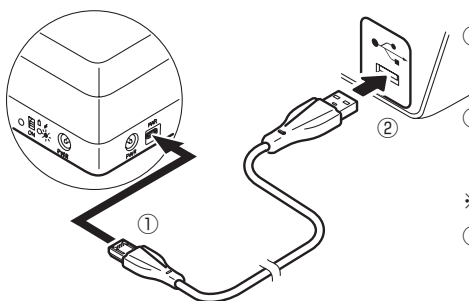
下記に従い付属のケーブルを使用し、シガーソケットまたは USB から充電してください。

シガーソケットから充電する場合



- ① 車内用充電ケーブルのDC端子-オスを本体の車内用充電ケーブル挿し込み口に挿入してください。
- ※ 車内用充電ケーブル挿し込み口は2か所ありますが、いずれもご使用いただけます。
- ② 車内用充電ケーブルのシガー端子-オスを車両の12Vシガーソケットに挿入してください。
- ※ 車両のシガーソケットの位置は車両の取扱説明書などで確認してください。
- ※ 車種によってはエンジンを始動しないとシガーソケットから給電が開始されない場合があります。
- ③ 3時間程度の充電で満充電となります。

USB 電源から充電する場合



- ① 充電用Micro USB Type-B ケーブルのMicro USB Type-B端子を本体の充電用Micro USB Type-B ケーブル差込口に挿入してください。
- ② 充電用Micro USB Type-B ケーブルのUSB Type-A端子を車両側USB電源（1A以上）に接続してください。
- ※ USB電源での充電は低速充電になります。
- ③ USB電源に接続して3時間経過すると自動的に充電を停止しますが、満充電の1/2～1/4程度となります。充電を継続する場合は、一度充電用Micro USB Type-B ケーブルを抜き、再度挿入してください。

・充電状態の確認方法

充電が正常に行われている場合 LED ランプ 1、LED ランプ 2 の両方が点灯します。
LED ランプ 1 の点灯色については、「3.2 充電残量の確認・動作確認」をご参照ください。

LED ランプ 1 (左側)



LED ランプ 2 (右側)

緑色……充電中です。
3 時間程度で満充電になります。

赤色……低速充電中です。
3 時間経過すると満充電の 1/2 ～ 1/4 程度で自動的に充電を停止します。

消灯……充電していません。

警告

以下に記載の行為は絶対におやめください。

- ・ 付属ケーブルを本製品以外の製品で使用する。
- ・ 付属ケーブルを傷つける、引っ張る、折り曲げる、束ねる、ねじる、加工する重いものを載せる、熱源に近づけるなど
- ・ 付属ケーブルを改造（端子の交換、分岐配線やたこ足配線を含む）する

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

付属ケーブルが破損、断線したり、端子が差し込めない、端子の差し込みが緩くなったりした場合は直ちに使用を中止してご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

本製品を所定の電圧外で使用しないでください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

本製品は 12V 車専用です。大型トラックなどの 24V 車には絶対に使用しないでください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

車両のシガーソケット、USB 端子と本体、付属ケーブルを接続する際は、車両の取扱説明書に応じた対応をしてください。

車種によっては、バッテリー上がりや故障の原因となります。

使用後または長時間使用しない時は、シガー端子、USB 端子を抜いてください。車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。

火災や車両のバッテリー上がりの原因となります。

付属ケーブルをドライバーなどの先端の尖ったものの先で押し込まないでください。

ケーブルの損傷により、故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

車両のシガーソケット、USB 端子と本体、付属ケーブルを接続する際は、端子を確実に差し込んでください。

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

付属ケーブルおよび付属ケーブルと接続する端子は定期的に清掃してください。

ほこりが付着していると火災の原因となります。

注意

車室内温度が高い（およそ 45℃以上）の場合、充電器内部の温度保護機能により充電を停止することがあります。温度を調整し、エンジンを再始動してから充電をしてください。

車室内温度が低い（およそ 0℃以下）の場合、充電電池の特性により充電容量が少なくなったり使用時間が短くなったりすることがあります。

また、充電器内部の温度保護機能により充電を停止することがあります。

3.4 取り付け位置の確認

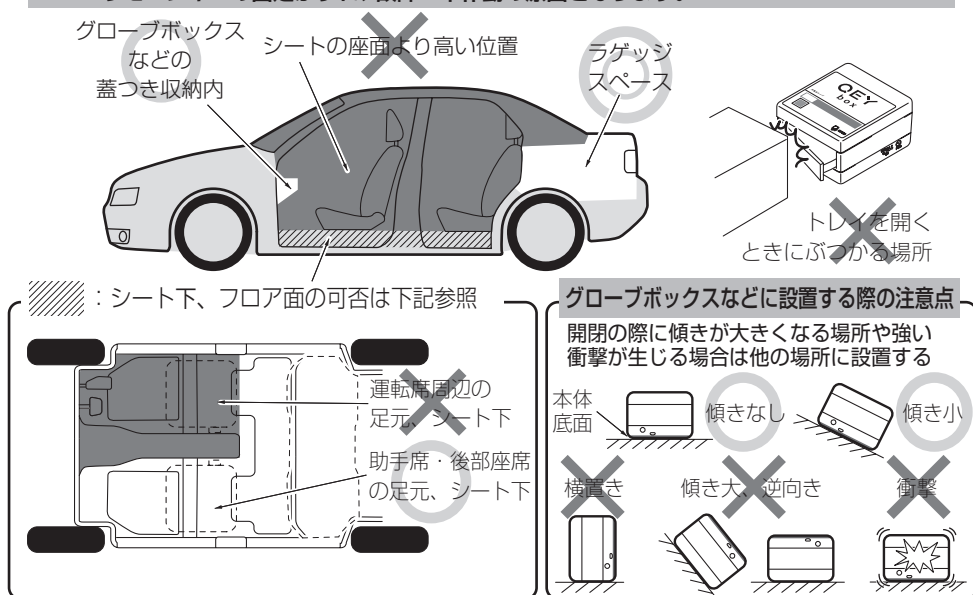
国土交通省の定める保安基準(※)に適合させるため、下部イラストのように、安全な位置に取り付けてください。(※) 保安基準第 20 条、細目告示第 26 条

● 取り付け位置の選定

下記に従い、車外から見えづらく、運転の邪魔にならない取り付け位置を選定してください。

取り付け禁止位置	取り付け可能位置
運転席周辺 (シート座面より下を含む)	ラゲッジスペース
全座席のシート座面より上	グローブボックスなどの蓋つき収納内
トレイを開くときにぶつかる場所	後部座席の足元、シート下
底面を下にして置けない場所	助手席の足元、シート下

【重要】 取り付けの際は必ず本体底面を下にし、横置きや逆向きには取り付けないでください。
リモコンキーの固定がずれ、故障・不作動の原因となります。



選定した取り付け位置に本体を仮置きし、車両の外から専用アプリケーションで本製品が認識されることを確認してください。

※本体の固定はケーブルの配線後、☞「3.7 本体の固定」を参照し実施してください。

⚠ 警告

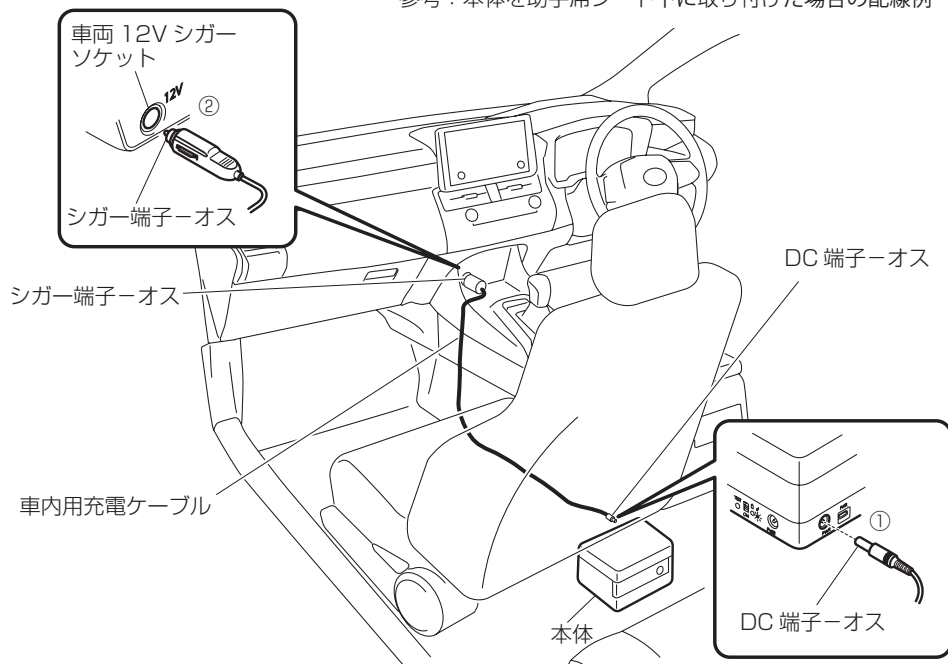
本体を直射日光の強いところに取り付けないでください。
故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

3.5 ケーブルの配線

● 配線方法

- ・車両に取り付ける際は、12V シガーソケットか USB 電源から給電を行ってください。
- ・運転の妨げにならないよう配線ください。

参考：本体を助手席シート下に取り付けた場合の配線例

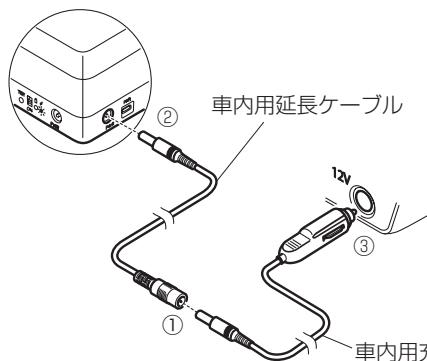


実際の配線経路は、本書の警告および注意事項をよくお読みいただき決めてください。

※ケーブルは①→②の順で接続してください。

ラゲッジスペースなどの電源から離れた場所に取り付ける場合

車内用充電ケーブル (2m) が届かない場合は車内用延長ケーブル (3m) を使用してください。



- ① 車内用充電ケーブルの DC 端子 - オスを車内用延長ケーブルの DC 端子 - メスに挿入してください。
- ② 車内用延長ケーブルの DC 端子 - オスを本体の車内用充電ケーブル挿し込み口に挿入してください。
- ③ 車内用充電ケーブルのシガー端子 - オスを車両の 12V シガーソケットに挿入してください。車両のシガーソケットの位置は車両の取扱説明書等で確認してください。

※ケーブルは①→②→③の順で接続してください。

警告

本製品を取り付ける際は、本書をよく読み、指定の手順で付属ケーブルを用いて配線してください。

誤った配線をするると故障による発煙や発火、火災や故障の原因となります。

本製品を取り付ける際は、車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に付属ケーブルを挟み込まないように配線してください。

断線やショートにより、故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

本製品を取り付ける際は、付属ケーブルの端子および接続部が車両の金属部品に触れないように配線してください。

金属部に接触するとケーブルの破損により、火災、感電の原因になります。

注意

ショートするおそれがありますので本体と付属ケーブルの端子および接続部に金属などの導電体を触れさせないでください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

以下のところには取り付け、配線をしないでください。

- ・ 湿気・ほこり・油煙の多い場所
- ・ 温度変化が起きやすい場所
- ・ クーラーの近くなど露つきが起きやすい場所
- ・ 灰皿や（超音波式）加湿器の近く
- ・ 強い磁気を帯びたものの近く

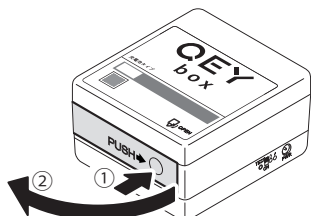
誤動作、故障の原因となります。

3.6 リモコンキーの格納・車両での動作確認

1. 本体にリモコンキーを格納してください。

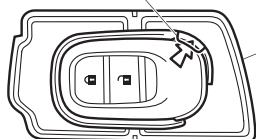
(1) 刻印「PUSH」右の丸形凹部を押してトレイを引き出してください。

※ トレイが開かない場合は専用アプリケーションで本体を解錠してください。



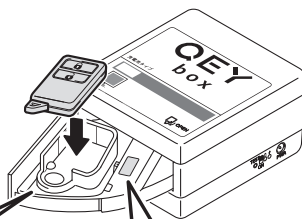
本製品の一部品番のキーベッドには、リモコンキーの飛び出しを防止するための屋根が設定されています。屋根がある場合にはリモコンキーを屋根の下に滑らせるように収納してください。

屋根（被さる部分）



キーベッド

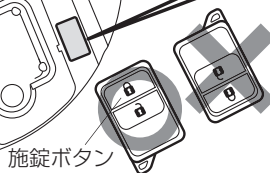
(2) 施錠・解錠ボタン面を上にして、リモコンキーをキーベッドに収めてください。



ラベルに従い、必ずリモコンキーのキーリングを取り外し、施錠ボタンが奥になる向きで収めてください。

キーリングを取り外す
ボタン面を裏向き
ロックボタン奥に

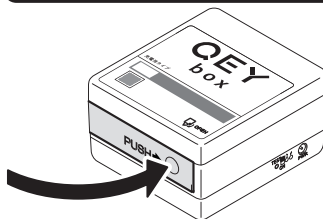
ラベル



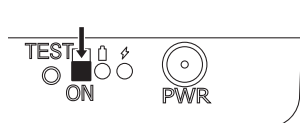
施錠ボタン

(3) 刻印「PUSH」右の丸形凹部を押してトレイを閉めてください。

※ リモコンキーが格納されている際は必ず本体底面を下にし、横置きや逆向きに取り付けしないでください。リモコンキーの固定がずれ、故障・不動作の原因となります。



2. 本体の電源を入れてください。



3. 専用アプリケーションで車両が施錠・解錠されるか確認してください。



— トレイが開かない場合 —

・ トレイを押しても開かない場合は、『8. 故障かな？と思ったら』をご参照ください。

— リモコンキーがキーベッドに収まらない場合 —

・ リモコンキーがキーベッドに収まらない場合は、『8. 故障かな？と思ったら』をご参照ください。

⚠ 注意

トレイ開口部に指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。

リモコンキーの格納及び本体のトレイの開閉時に指などを挟まないようにご注意ください。

故障、けがの原因になります。

本製品にリモコンキーを格納及び取り外しする際は、傷をつけないよう慎重に取り扱ってください。

傷や破損が発生した場合であっても当社は一切の責任を負いかねます。

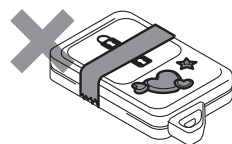
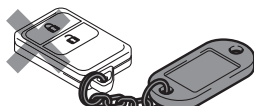
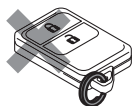
リモコンキーを格納する際は、キーベッドにリモコンキーが収まった状態でトレイを閉じてください。

無理にトレイを閉じると、故障や破損、けがの原因となります。

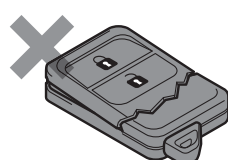
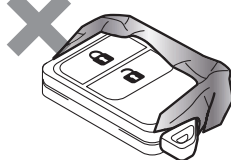
本体に次のようなリモコンキーは格納しないでください。

動作不良により車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合や故障の原因になります。

- ・ キーリングが付いている
- ・ アクセサリが付いている
- ・ シールやテープが貼ってある



- ・ キーカバーが付いている
- ・ 金属箔などの異物がついている
- ・ 変形、破損している



本製品は、ご注文時にご指定いただいたリモコンキー専用でのご使用を目的としています。異なるリモコンキーはご使用いただけません。

ご指定のリモコンキー以外を格納すると動作不良、故障の原因になります。

シェアリングしない場合は本体にリモコンキーを入れたままにしないでください。

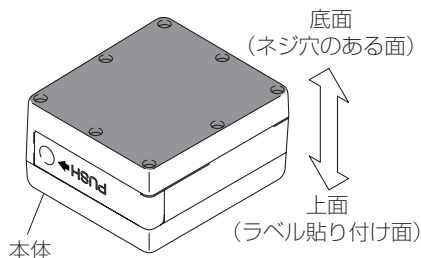
車両の盗難・紛失が起きても当社は一切の責任を負いかねます。

3.7 本体の固定

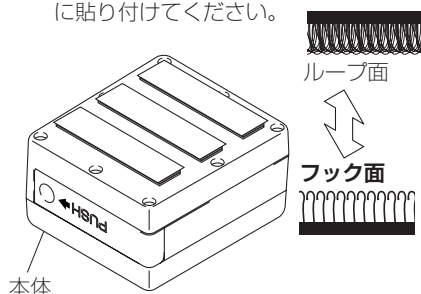
- ・「3.4 取り付け位置の確認」の際に選定した場所にケーブル接続時のスペースを考慮した上で、下記に従い本体を固定してください。

● 固定方法

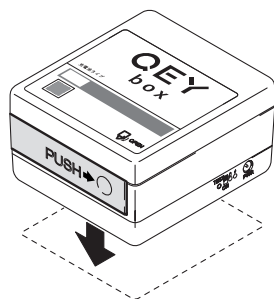
- ① 水で湿らせた柔らかい布などで本体の底面を拭いてください。



- ③ 面ファスナーの**フック面側**を本体底面に貼り付けてください。

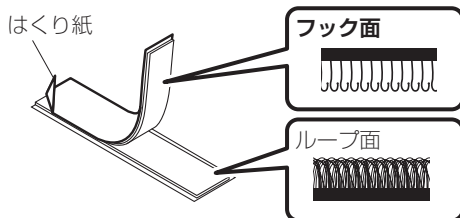


- ⑤ 本体のラベル面を上にして車両の取り付け位置に貼り付けてください。

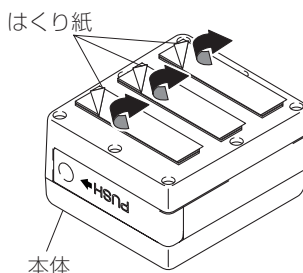


- ② 組になっている面ファスナーのフック面とループ面を確認し、**フック面側**のはくり紙を剥がしてください。

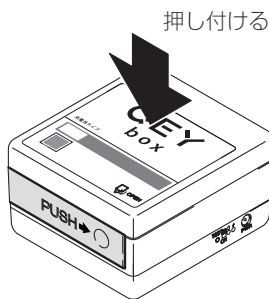
※ はくり紙を剥がす前に、組状態に戻してください。



- ④ ループ面側のはくり紙を剥がしてください。



- ⑥ 本体を押し付け、固定されていることを確認してください。



- ※ 車両のフロアをループ面として使用できる場合があります。その際、面ファスナーのループ面は使用しません。
- ※ 各ケーブルの接続が外れている場合は再度接続してください。

警告

本体を取り付ける際は付属の面ファスナーで、動かないように確実に固定してください。

固定が不十分だと、思わぬ事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

本製品を取り付ける際に車両の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを使用しないでください。

故障による火災、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

注意

以下のところには取り付け、配線をしないでください。

- ・ 湿気・ほこり・油煙の多い場所
- ・ 温度変化が起きやすい場所
- ・ クーラーの近くなど露つきが起きやすい場所
- ・ 灰皿や（超音波式）加湿器の近く
- ・ 強い磁気を帯びたものの近く
- ・ 後席同乗者の足にあたる場所

誤動作や故障の原因となります。

本体のトレイの開口部前にはトレイを開けるのに十分なスペースを確保してください。

リモコンキーが正しく収納できず、動作不良により車両の解錠施錠が正常に行えない場合があります。また、トレイ開閉時にトレイが障害物に当たり、破損やけがの原因になることがあります。

本体を取り付ける際に付属の面ファスナーでカーペットや内装に汚れや傷をつけないようご注意ください。

汚れや傷が発生した場合であっても、当社は一切の責任を負いかねます。

4. 標準的な使い方

・本章では、標準的な使い方を下記のとおり内容に分けて記載します。

本製品の機能に関する説明

4.1 本製品について

本製品の使用に関する説明

4.2 本製品で車両を貸し出す時

4.3 本製品で車両を利用する時

・各章の記載事項をよくお読みいただきご使用ください。

警告

本製品が推奨するご使用方法以外で本体にリモコンキーを入れたままにしないでください。

車両の盗難・紛失が起きても当社は一切の責任を負いかねます。

本体を直射日光の強いところや異常に高温となる場所に放置しないでください。

故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

ぬれた手で本製品に触れたり、付属ケーブルを抜き差ししたりしないでください。また、端子に雨水・飲料水・雪などが付着した場合は乾燥させてから使用してください。

発煙や発火、火災、感電の原因となります。

使用前にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

ほこりの混入、故障および故障による発煙や発火、火災、感電の原因となります。

本製品をご使用になる前に、付属の面ファスナーなどで、本体が確実に固定されていることを確認してください。

固定が不十分だと、思わぬ事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

本体に付属ケーブル以外のケーブルを接続しないでください。

故障による発煙や発火、火災、けがの原因になります。

運転中に本製品の操作を絶対に行わないでください。

交通事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

注意

車内にあった本製品に触れる際やけどに注意ください。

けがの原因になります。

本製品に飲み物など液体がかからないように注意ください。

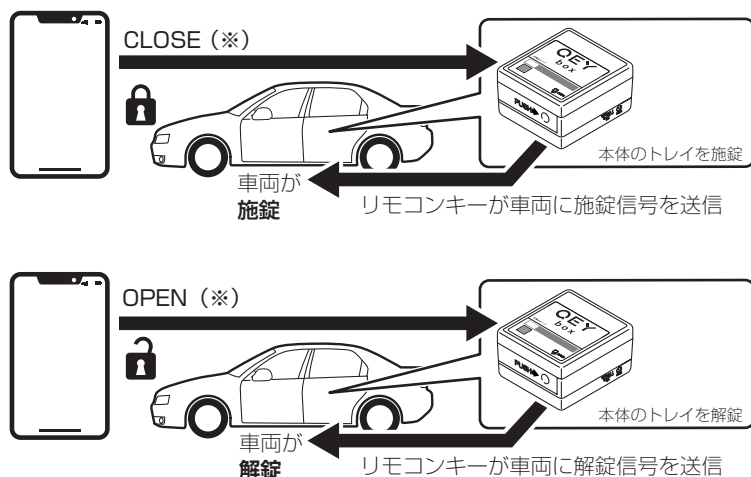
本製品に液体がかかると故障による発煙、発火、感電の原因となります。

4.1 本製品について

本製品は、車両のリモコンキーを格納し、遠隔で車両のドアロックを動作させることで非対面での車両の受け渡し（シェアリング）を目的とするものです。シェアリング以外の目的で、不必要にリモコンキーを車室内に入れたままにしないでください。

● 本製品の機能について

本製品は、専用アプリケーションで車両のドアロックを動作させることができます。



ご利用には専用アプリケーションが必要です。各サービスの案内をご確認ください。

(※)：専用アプリケーションによっては OPEN/CLOSE が別になっておらず共通操作で交互に実施される場合があります。

本製品を操作するスマートフォン/タブレットについてのお願い

- ・ 本製品を操作するスマートフォン/タブレットは、紛失した場合に備え、画面ロックおよび本製品を利用したサービスのログインに多要素認証を設定するなど、セキュリティに配慮ください。
- ・ 本製品を操作するスマートフォン/タブレットを紛失した場合、直ちに、本製品の使用を停止し、可能であればリモコンキーを本体から取り出し、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

4.2 本製品で車両を貸し出す時

●貸し出す前の準備

①代替手段を準備



本製品の正常な動作には万全を期しておりますが、
外的な要因などにより予期せず本製品が
動作しない場合があります。万が一の場合に備え、
本製品によらないドア施錠・解錠の代替手段
をご準備の上、本製品をご使用ください。

②車両の取扱説明書を確認



本製品に使用する車両およびリモコンキーの
取扱説明書および使用上の注意事項をご確認の上、
必ずお守りください。

③リモコンキーの動作確認



リモコンキーを格納する前に、リモコンキーによる
車両の施錠・解錠操作が正常に作動することを確認
してください。

寒冷期に入る前にリモコンキーの電池を新品へ
交換してください。

(推奨電池メーカー：Panasonic)

リモコンキーの電池の種類や消耗状況によっては
車両温度環境の変化などによりリモコンキーが
作動しないおそれがあります。

リモコンキーの電池交換方法については車両の
取扱説明書をご確認ください。

④専用アプリケーション確認



専用アプリケーションで本製品が使用できることを
確認してください。

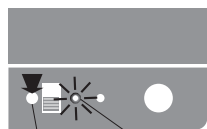
⑤必要に応じた車両盗難対策を実施



本製品は車両盗難対策を目的とする製品では
ありません。使用環境などに応じて、ハンドル
ロックなどの車両盗難対策を実施ください。

●貸し出す際は

①充電状態を確認



TEST ボタン LED1 ランプ (左側)

本体の TEST ボタンを押して充分充電 (LED ランプ 1 が緑色点灯) されていることを確認してください。

※ 本体を充電残量が空になる前に充電してください。万が一、充電残量が空になった場合は必ず、所定の時間充電し、満充電にしてください。充電残量が空の場合、充電時にLED1、LED2が正常に動作するまでに時間がかかります。

②本体を取り付け



貸し出す車両に本体を取り付けてください。

※ 本体が大きく傾いたり、強い衝撃を受ける設置場所では車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合があります。(P.15を参照ください)

③リモコンキーを格納

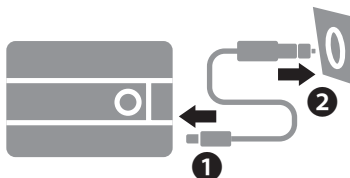


本体のトレイを開き、リモコンキーを格納してください。

※ リモコンキーを本体に格納する時、リモコンキーのメカニカルキー (内蔵キー) は取り外さないでください。

動作不良により車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合や故障の原因になります。

④ケーブルを接続



ケーブルを接続してください。

⑤専用アプリケーションで施錠



専用アプリケーションで車両を施錠してください。

※ 車両を貸し出す前に、専用アプリケーションで車両の施錠・解錠が正常に行えるかご確認ください。

⑥施錠の確認



車両のドアハンドルを引き、施錠されていることを直接確認してください。

※ 本体をスマートフォン／タブレットで操作した際は、施錠・解錠が完了するまで車両のドアやドアロックにさわらないでください。誤動作の原因になります。

※ 貸し出しが終了した際は必ずリモコンキーを本体から取り出してください。

4.3 本製品で車両を利用する時

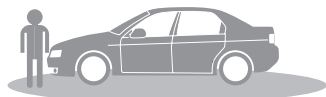
●車両を利用する際は

①専用アプリケーションの確認



専用アプリケーションで本製品が使用できることを確認してください。

②車両に近づく



使用する車両付近に近づいてください。

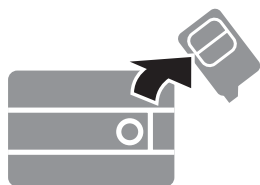
③専用アプリケーションで解錠



専用アプリケーションで車両を解錠してください。

※ 本体をスマートフォン／タブレットで操作した際は、施錠・解錠が完了するまで車両のドアや ドアロックにさわらないでください。誤動作の原因になります。

④リモコンキーの取り出し



本体のトレイを開き、リモコンキーを取り出してください。

※ 車両から本体が見つからない場合は、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

本製品の正常な動作には万全を期しておりますが、万が一の場合に備え、
車両のご利用中は車両のリモコンキーを直接使用してください。



●利用終了する際は

①リモコンキーを格納



②専用アプリケーションで施錠



③車の施錠を直接確認



- ※ リモコンキーを本体に格納する時、リモコンキーのメカニカルキー（内蔵キー）は取り外さないでください。
動作不良により車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合や故障の原因になります。
- ※ 本体が大きく傾いたり、強い衝撃を受ける設置場所では車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合があります。（P.15を参照ください）

注意

トレイ開口部に指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。

リモコンキーの格納及び本体のトレイの開閉時に指などを挟まないようにご注意ください。

故障、けがの原因になります。

本製品にリモコンキーを格納及び取り外しする際は、傷をつけないよう慎重に取り扱ってください。

傷や破損が発生した場合であっても当社は一切の責任を負いかねます。

リモコンキーを格納する際は、キーベッドにリモコンキーが収まった状態でトレイを閉じてください。

無理にトレイを閉じると、故障や破損、けがの原因となります。

本体にリモコンキーを出し入れした後は、必ずトレイを閉じてください。トレイを開けたまま運転すると開いたふたに体が当たったり、リモコンキーが飛び出したりして、交通事故の原因になります。

本体が大きく傾いたり、強い衝撃を受ける設置場所では車両の施錠・解錠が正常に行えなくなる場合があります。(P.15 を参照ください)

本製品は、車両のリモコンキーを格納し、スマートフォンで車外から車両の施錠・解錠を動作させることで非対面での車両の受け渡し（シェアリング）を可能とすることを目的としております。

本製品はお客様のスマートフォンを介した認証システムとの通信による施解錠を行いますので、場合によっては通信障害などにより即座に動作できない場合があります。動作しない場合はご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

本体にリモコンキーを格納したまま置き方や向きを変えないでください。

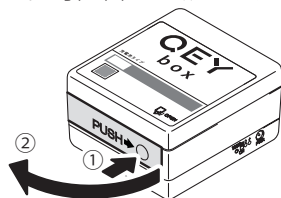
動作不良によりの施錠・解錠が正常に行えなくなる場合や故障の原因になります。

5. 取り外し方

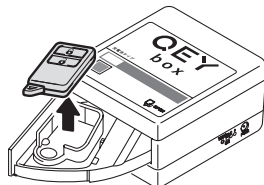
●取り外し手順

1. 本体からリモコンキーを取り出してください。

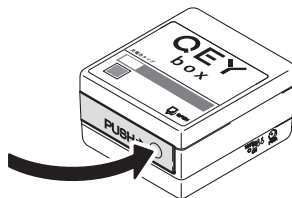
(1) 刻印「PUSH」右の丸形凹部を押してトレイを引き出してください。



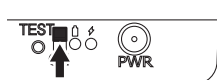
(2) リモコンキーを取り出してください。



(3) 刻印「PUSH」右の丸形凹部を押してトレイを閉めてください。

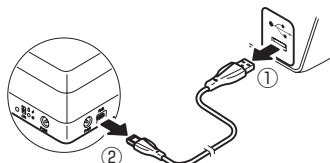
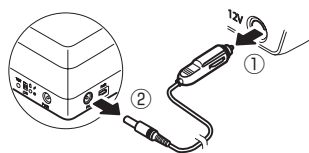


2. 本体の電源を切ってください。



3. 電源ケーブルを抜いてください。

(1) シガーソケット (USB 電源) に挿入している端子→本体に挿入している端子の順でケーブルを抜いてください。



4. 本体を車両から取り外してください。

トレイが開かない場合

- ・トレイを押しても開かない場合は、『8. 故障かな?と思ったら』をご参照ください。

トレイからリモコンキーが取り出せない場合

- ・トレイからリモコンキーを取り出せない場合は、『8. 故障かな?と思ったら』をご参照ください。

警告

本製品を取り外す際は、車両を完全に停止させ、安全な環境で作業ください。

交通事故やけがの原因になります。

本製品を取り外す際は、必ず最初に電源に接続しているシガー端子、もしくは USB 端子を抜いてください。

電源に接続したまま取り外し作業を行うと発煙や出火、火災、感電の原因になります。

注意

トレイ開口部に指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。

本体のトレイの開閉時に指などを挟まないようにご注意ください。

故障、けがの原因になります。

本製品を取り外す際は、本書をよく読み、指定の手順に従って取り外してください。

誤った取り外し方をすると故障の原因となります。

本製品を取り外す際は、ボディ、ミラー、ドア、ステップ、シート、エアバックセンサー、その他の車両部品にぶついたり、擦ったりしないように注意して取り外してください。

車の故障や不具合、エアバックの誤動作によるけがの原因になるおそれがあります。

なお、車両に故障や傷が発生した場合であっても、当社は一切の責任を負いかねます。

面ファスナーを取り外す際、カーペットや内装に汚れや傷をつけないようご注意ください。

汚れや傷が発生した場合であっても、当社は責任を負いかねます。

6. 保管

注意

本製品を保管する場合は以下の場所を避けてください。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 水（傘の雨水など）のかかる場所
- ・ 発熱するものの近くや熱がこもる場所
- ・ 湿気・ほこり・油煙の多い場所
- ・ 温度変化が起きやすい場所
- ・ クーラーの近くなど露つきが起きやすい場所
- ・ 火気の近く
- ・ 強い磁気を帯びたものの近く
- ・ 落下のおそれがある場所
- ・ 重たいものの下など重量のかかる場所

故障および、故障による発煙や発火、火災、感電の原因、または落下によるけがのおそれがあります。

本製品は、-20℃～+60℃の乾燥した場所に保管してください。

使用しない時は必ず電源を OFF にしてください。

7. メンテナンス

- ・ 本製品を使用する前に充電残量を確認し、必要に応じて充電してください。
- ・ 本製品を使用した後、継続して使用する場合は充電残量を確認し、必要に応じて充電してください。
- ・ 本製品を使用した後、汚れ、ほこりが付着している場合は清掃をしてください。
- ・ 本製品を清掃する際は柔らかく、清潔で、糸くずの出ない布を中性洗剤溶液または水で湿らせて使用してください。

繰り返しの使用で面ファスナーが固定されなくなるおそれがありますので、定期的に付着したごみやほこりを取り除いてください。

アルコールや化学洗浄剤、溶剤は使用しないでください。

プラスチック部品に損傷を与え、故障の原因になります。

本製品のご利用を終了する際はお客様ご自身で廃棄せず、ご利用サービスの指示に従ってください。

絶対に本体を分解・改造しないでください。

リモコンキーの電池を定期的に交換してください。

(推奨電池メーカー :Panasonic)

使用環境や電池消耗状況によってリモコンキーが作動しないおそれがあります。

8. 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に以下の項目を安全な場所に移動したのちチェックしてください。
それでも改善されない場合はご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

■車両を利用する(借りる)方

P.32～34を参照ください



■車両を管理する(貸し出す)方

P.35～38を参照ください



■車両を利用する（借りる）方

症状	確認対象	原因	対処
全ての症状共通で ご確認いただきたい事	専用アプリケーション	予約がされていない、または利用権を削除されている	予約の状態をご確認ください。
		異なる操作対象車両を選択している	予約した車両と専用アプリケーションで操作しようとしている対象が一致しているかご確認ください。一致していない場合は、操作できません。
		異なる車両の利用が許可されている	ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。予約した車両とは別の車両の利用許可がされている場合は操作できません。
		最新バージョンでない	専用アプリケーションを最新バージョンにアップデートしてください。バージョンアップの方法などはお手持ちのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。
		その他の原因	ご利用のサービスの案内に従い正しく操作してください。操作方法は専用アプリケーションによって異なります。
		インターネットの通信環境が悪い	ご利用スマートフォン・タブレットのネットワーク状況をご確認ください。正常に通信環境につながっていても Free Wifi 経由など、極度に回線が遅延すると正常に動作しない場合があります。
スマートフォン・タブレットおよびネットワーク環境	Bluetooth 機能が専用アプリケーションで利用できない	Bluetooth 機能が専用アプリケーションで利用できない	『9.2.2.BLE の設定方法について』から Bluetooth 設定をご確認ください。
		車両から離れている、または電波を遮断されていて Bluetooth 通信ができない	可能な限り車両に近づいて操作してください。電波が遮断されるような素材を本体に被せないでください。
		OS バージョンが利用可能なバージョンでない	お使いのスマートフォン・タブレットの OS バージョンと、専用アプリケーションの利用可能 OS バージョンをご確認ください。利用可能バージョンに対応したスマートフォン・タブレットを使用ください。
		スマートフォン・タブレットの動作不良	お使いのスマートフォン・タブレットを再起動し、正常に使用できるかご確認ください。

■車両を利用する（借りる）方

症状	確認対象	原因	対処
車両の解錠ができず、車両が借り受けられない	車両およびリモコンキー	車両のリモコンキーが機能していない	電池消耗末期になると、車両鍵を手持ちで操作した際に動作している場合でも、車内にセットした際の気温の変化（特に低温時）によりリモコンキーが作動しづらい状況になることがあります。 この時、何度か操作することで解錠できる場合もあります。 ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
車両の施錠ができず、車両が返却できない	車両およびリモコンキー	全てのドア（トランク含む）、給油口、ボンネットなどが完全に閉じていない	完全に閉じてください。
		リモコンキーが車両側で OFF の設定になっている	ご利用車両の取扱説明書をご確認の上、車両の設定をご確認ください。
		車両の ENGINE START STOP（イグニッション）スイッチが ON になっている	車両のエンジンを OFF にしてください。
		車両のリモコンキーが機能していない	本体からリモコンキーを取り出し、リモコンキーで施錠できるかご確認ください。リモコンキーが故障、または電池切れの場合は本製品での施錠もできません。特に電池消耗末期になると、車両鍵を手持ちで操作した際に動作している場合でも、車内にセットした際の気温の変化（特に低温時）によりリモコンキーが作動しづらい状況になることがあります。 ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
		軍基地、電波塔の近くなど強い電波を発するものの近くで操作している	強い電波を発するものが近くにあるとリモコンキーが正常に動作しない場合があります。電波の影響のない場所へ移動いただき、動作をご確認ください。
		リモコンキーが正しく格納されていない	リモコンキーが適切に格納されているかご確認ください。リモコンキーの裏表や向きが正しく格納されていない場合は正しく格納してください。
		リモコンキーを格納し忘れている	リモコンキーを本体に適切に格納してください。
		リモコンキーにキーリング、キーカバーなどのキーアクセサリなどの付属物がついている	リモコンキーに付属物がついている場合、正しく動作しません。
	本体	本体にリモコンキー以外の異物が入っている	本体内部にリモコンキー以外の異物が入っていないかご確認ください。
		本体の電池が切れている	本体を充電してください。
		動作温度を超えている	直射日光を避けた場所に取り付け、仕様温度範囲内でご使用ください。
		その他の原因	本体を再起動して本体が動作するかご確認ください。

■車両を利用する（借りる）方

症状	確認対象	原因	対処
リモコンキーを本体に格納できない	リモコンキー	本体にリモコンキー以外の異物が入っている	本体内部にリモコンキー以外の異物が入っていないかご確認ください。
		キーベッドに正しく格納されていない	リモコンキーが適切に格納されているかご確認ください。キーの裏表や向きが正しく格納されていない場合は正しく格納してください。
		強い衝撃を受けた、高温状態にあったなどにより変形した	ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。変形したリモコンキーを無理やり格納すると本体トレイが開かなくなる場合があります。
本体動作時に異音がある	本体	製品本体が変形している	本体トレイの変形に気づいたら本製品のご使用をやめてご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
本体が固定されていない		面ファスナーが汚れている	繰り返し使用で面ファスナーが汚れている場合は拭き取ってください。
本体の電源が入らない		本体の電池が切れている	本体を充電してください。
本体の充電ができない	車両	車両の ACC 電源が給電されない	車両で充電する場合はエンジンまたは ACC を ON にしてください。
		周囲の温度が極度に高い、低い	充電可能または効率の良い温度範囲（0℃～45℃）に車室内の温度を調節してください。
	本体	充電ケーブルが正しく接続されていない	充電ケーブルが正しく接続されているか、充電ケーブルの挿し込みが不十分でないかご確認ください。
本体の充電残量が短時間でなくなる	本体	内蔵バッテリーが劣化している	本製品が正常に動作しない場合があります。ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
本体のトレイが開かない	車両	周囲の温度が極度に高い、低い	仕様の範囲になるよう周囲の温度を調節したのち、再度お試しください。
	本体	トレイが施錠されている	本体のトレイは専用アプリケーションの操作により車両と連動して施錠・解錠されます。手動での施錠・解錠はできません。
		異物が引っかかっている	無理に開けようとするとかげの原因となります。ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
		電池残量が少ない	電池残量をご確認いただき、残量が少ない場合は充電してください。
		その他の原因	無理に開けようとするとかげの原因となります。ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
動作（施錠・解錠）が遅い	ネットワーク環境	インターネットの通信環境が悪い	ご利用スマートフォン・タブレットのネットワーク状況をご確認ください。Free Wifi に繋がっている場合など、極度に回線の遅延により動作が遅くなる場合があります。
運転に支障がある	本体および配線	本体取り付け位置、配線方法が不適切	「3.4 取り付け位置の確認」および「3.5 ケーブルの配線」をご確認いただき、適切な処置となっているかご確認ください。運転に支障がある場合は、そのまま状態を放置して運転しないでください。思わぬ事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

■車両を管理する（貸し出す）方

症状	確認対象	原因	対処
全ての症状共通で ご確認いただきたい事	専用アプリケーション	異なる操作対象車両を選択している	車両と専用アプリケーションで操作しようとしている対象が一致しているかご確認ください。一致していない場合は、操作できません。
		最新バージョンでない	専用アプリケーションを最新バージョンにアップデートしてください。 バージョンアップの方法などはお手持ちのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。
		その他の原因	ご利用のサービスの案内に従い正しく操作してください。 操作方法は専用アプリケーションによって異なります。
	スマートフォン・タブレットおよびネットワーク環境	インターネットの通信環境が悪い	ご利用スマートフォン・タブレットのネットワーク状況をご確認ください。正常に通信環境につながっていても Free Wifi 経由など、極度に回線が遅延すると正常に動作しない場合があります。
		Bluetooth 機能が専用アプリケーションで利用できない	『9.2.2.BLE の設定方法について』から Bluetooth 設定をご確認ください。
		車両から離れている、または電波を遮断されていて Bluetooth 通信ができない	可能な限り車両に近づいて操作してください。電波が遮断されるような素材を本体に被せないでください。
		OS バージョンが利用可能なバージョンでない	お使いのスマートフォン・タブレットの OS バージョンと、専用アプリケーションの利用可能 OS バージョンをご確認ください。 利用可能バージョンに対応したスマートフォン・タブレットを使用してください。
		スマートフォン・タブレットの動作不良	お使いのスマートフォン・タブレットを再起動し、正常に使用できるかご確認ください。

■車両を管理する（貸し出す）方

症状	確認対象	原因	対処
車両の施錠ができず、車両が貸し出せない	車両およびリモコンキー	全てのドア（トランク含む）、給油口、ボンネットなどが完全に閉じていない	完全に閉じてください。
		リモコンキーが車両側でOFFの設定になっている	ご利用車両の取扱説明書をご確認の上、車両の設定をご確認ください。
		車両のENGINE START STOP(イグニッション)スイッチがONになっている	車両のエンジンをOFFにしてください。
		車両のリモコンキーが機能していない	本体からリモコンキーを取り出し、リモコンキーで施錠できるかご確認ください。 リモコンキーが故障、または電池切れの場合は本製品での施錠もできません。電池消耗末期になると、車両鍵を持ちちで操作した際に動作している場合でも、車内にセットした際の気温の変化（特に低温時）によりリモコンキーが作動しづらい状況になることがあります。 定期的に新品電池へ交換してください。 推奨電池メーカー：Panasonic ご利用車両の取扱説明書をご確認の上、車両リモコンキーが機能するよう対応してください。
		軍基地、電波塔の近くなど強い電波を発するものの近くで操作している	強い電波を発するものが近くにあるとリモコンキーが正常に動作しない場合があります。 電波の影響のない場所へ移動いただき、動作をご確認ください。
		リモコンキーが正しく格納されていない	リモコンキーが適切に格納されているかご確認ください。キーの裏表や向きが正しく格納されていない場合は正しく格納してください。
		リモコンキーを格納し忘れている	リモコンキーを本体に適切に格納してください。
		リモコンキーにキーリング、キーカバーなどのキーアクセサリなどの付属物がついている	付属物を取り外してください。 リモコンキーに付属物がついている場合、正しく動作しません。
	本体	本体にリモコンキー以外の異物が入っている	本体内部にリモコンキー以外の異物が入っていないかご確認ください。
		動作温度を超えている	直射日光を避けた場所に取り付け、仕様温度範囲内でご使用ください。
		本体の電池が切れている	本体を充電してください。
		その他の原因	本体を再起動して本体が動作するかご確認ください。

■車両を管理する（貸し出す）方

症状	確認対象	原因	対処
車両の解錠ができず、車両が引き取り出来ない	車両およびリモコンキー	リモコンキーの設定が車両側で OFF になっている	車両のリモコンキーで解錠ができる状態がご利用車両の取扱説明書でご確認ください。スペアキーなどの代替手段で解錠してください。
		車のバッテリーが上がっている	
		全てのドア（トランク含む）、給油口、ボンネットなどが完全に閉じていない	
		軍基地、電波塔の近くなど強い電波を発するものの近くで操作している	
		リモコンキーの電池が切れている	電池消耗末期になると、車両鍵を手持ちで操作した際に動作している場合でも、車内にセットした際の気温の変化（特に低温時）によりリモコンキーが作動しづらい状況になることがあります。 定期的に新品電池へ交換してください。 推奨電池メーカー：Panasonic
		動作温度を超えている	直射日光を避けた場所に取り付け、仕様温度範囲内でご使用ください。
リモコンキーを本体に格納できない	リモコンキー	ご注文いただいた際のリモコンキーと異なる	注文状況をご確認いただき、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
		本体にリモコンキー以外の異物が入っている	本体内部にリモコンキー以外の異物が入っていないかご確認ください。
		キーベッドに正しく格納されていない	リモコンキーが適切に格納されているかご確認ください。キーの裏表や向きが正しく格納されていない場合は正しく格納してください。
		強い衝撃を受けた、高温状態にあったなどにより変形した	予備のリモコンキーをご使用ください。変形したリモコンキーを無理やり格納すると本体トレイが開かなくなる場合があります。
本体動作時に異音がる	本体	製品本体が変形している	本体トレイの変形に気づいたら本製品のご使用をやめてご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
本体が固定されていない		面ファスナーが汚れている	繰り返しの使用で面ファスナーが汚れている場合は拭き取ってください。
本体の電源が入らない		本体の電池が切れている	本体を充電してください。
本体の充電ができない	車両	車両の ACC 電源が給電されない	車両で充電する場合はエンジンまたは ACC を ON にしてください。
		周囲の温度が極度に高い、低い	仕様の範囲になるよう車室内の温度を調節してください。
	本体	充電ケーブルが正しく接続されていない	充電ケーブルが正しく接続されているか、充電ケーブルの挿し込みが不十分でないかご確認ください。

■車両を管理する（貸し出す）方

症状	確認対象	原因	対処
本体の充電残量が短時間でなくなる	本体	内蔵バッテリーが劣化している	本製品が正常に動作しない場合があります。ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
本体のトレイが開かない	車両	周囲の温度が極度に高い、低い	仕様の範囲になるよう周囲の温度を調節したのち、再度お試しください。
	本体	トレイが施錠されている	本体のトレイは専用アプリケーションの操作により車両と連動して施錠・解錠されます。手動での施錠解錠はできません。
		異物が引っかかっている	ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。無理に開けようとするとけがの原因となります。
		電池残量が少ない	電池残量をご確認いただき、残量が少ない場合は充電してください。
動作（施錠・解錠）が明らかに遅い		その他の原因	無理に開けようとするとけがの原因となります。ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。
	ネットワーク環境	インターネットの通信環境が悪い	ご利用スマートフォン・タブレットのネットワーク状況をご確認ください。Free Wifiに繋がっている場合など、極度に回線の遅延により動作が遅くなる場合があります。
運転に支障がある	本体および配線	本体取り付け位置、配線方法が不適切	「3.4 取り付け位置の確認」および「3.5 ケーブルの配線」をご確認いただき、適切な処置となっているかご確認ください。運転に支障がある場合は、そのまま状態を放置して運転しないでください。思わぬ事故につながり、けがや、最悪の場合、死亡事故の原因となります。

9. 利用上の注意

9.1 内蔵バッテリーについて



警告

内蔵バッテリーの液が漏れた時は素手で液に触らないでください。
液が目にはいった時は、失明の原因になることがあるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についた時も、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状がある時には医師に相談してください。

内蔵バッテリーが漏液したり、異臭がする時には直ちに使用を取り止めてください。

内蔵バッテリーが破裂してけがや火災の原因になります。

内蔵バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部分をぬらさないでください。

故障や感電の原因になります。

9.2 Bluetooth 通信について

9.2.1 利用規約

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。

したがって、本製品を使用する時に無線局の免許は必要ありません。

日本国内のみで使用してください。

日本国内以外で使用する则ち各国の電波法に抵触する可能性があります。

また、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解 / 改造すること
- ・ 本体に貼ってある証明ラベルを剥がすこと

本製品の仕様周波数は 2.4GHz 帯です。

この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用機内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

不明な点その他お困りのことが起きた時は、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

下記の電子機器と本製品との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

- ・ 火災報知器・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・ 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・ 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- ・ 自動制御機器・その他 Bluetooth 対応機器や VICS（道路交通網システム）アマチュア無線局など
- ・ 病院内 / ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所 / 自動ドアの近く

Bluetooth 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。

- ・ 本製品と Bluetooth 機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・ 無線 LAN が構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など

本製品は、Bluetooth 無線技術を利用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。

Bluetooth 通信を行う際はご注意ください。

Bluetooth 通信時に情報の漏洩が発生しなくても、当社は 一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品はすべての Bluetooth 機器との Bluetooth 接続を保証するものではありません。

接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

接続する機器が上記 Bluetooth 標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

9.2.2 BLE の設定方法について

■iOS 端末をご使用の場合

①スマートフォンの Bluetooth 設定は ON になっているかをご確認ください。

a. 全体設定の確認

操作：設定 > Bluetooth

> ON



b. コントロールセンターでの一時的な OFF 状態の確認

操作：下から上に画面スワイプ

Bluetooth『オン』の確認

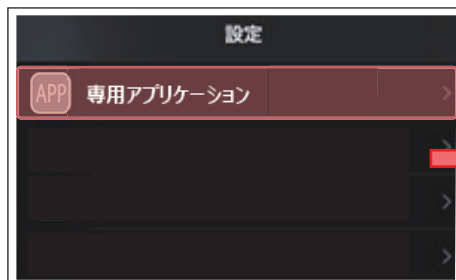


②Bluetooth の利用をアプリケーションに許可できているかをご確認ください。

c. 個別アプリの確認

設定 > 専用アプリケーション

> Bluetooth > ON



■Android 端末をご使用の場合

※Android 6.0 以上から BLE の利用には位置情報の機能、権限を共にオンにする必要があります。

※機種によって操作が異なる場合がありますので、ご利用のスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

①スマートフォン端末の Bluetooth 設定は ON になっているかをご確認ください。

操作：設定 > Bluetooth

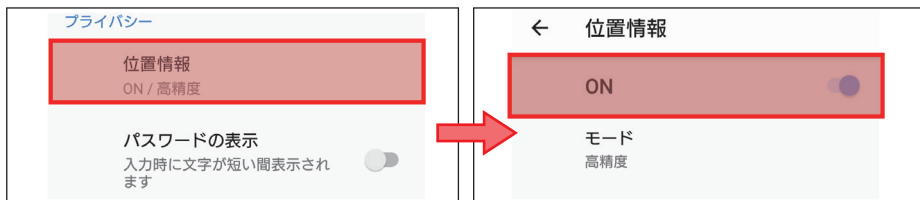
> ON



②スマートフォンの端末の位置情報設定は ON になっているかをご確認ください。

操作：設定 > 位置情報

> ON



③位置情報の利用が専用アプリケーションで許可できているかご確認ください。

操作：設定 > アプリと通知 > アプリ情報 > 専用アプリケーション > 許可 > 位置情報 ON



9.3 本製品のご利用を終了する際のお願い

本製品のご利用を終了する際はお客様ご自身で廃棄せず、ご利用サービスの指示に従ってください。

絶対に本体を分解・改造しないでください。

10. 本製品で利用しているソフトウェアライセンスについて

本製品には、下記に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。

ソフトウェア名称	紐づけ先ライセンス
SIMPLELINK_CC13X2_CC26X2_SDK	
TI SimpleLink CC13x2_26x2 SDK	TI Commercial
TI SimpleLink CC13x2_26x2 SDK	Texas Instruments BSD-3-Clause License
TI-BLE5-STACK (Agama)	
BLE5	TI Commercial
BLE5	TI BSD-3-Clause
CC13X2_CC26X2 Radio Software Bundle (rflib)	
RF driver	BSD-3-Clause license
Radio core firmware and low-level API	BSD-3-Clause license
SysConfig RF driver module	BSD-3-Clause license
SysConfig Radio Config module	BSD-3-Clause license
CoreSDK for CC13xx and CC26xx	
CoreSDK	BSD-3-Clause
CC13xx_CC26xx - Encryption Driver	BSD-3-Clause
CC13xx_CC26xx - Encryption Driver	Core SDK, CC13xx_CC26xx - Encryption Driver Licens
SYSBIOS	
SYS/BIOS	BSD-3-Clause
SYS/BIOS	SYS/BIOS License
mcu boot	Apache License
	The MIT License (MIT)
littelfs	littelfs

当該ソフトウェアの使用許諾条件については、下記詳細ページをご参照ください。

https://freekey.info/forcar-manual/FreeKey_BOX_Manual_OSS_00.pdf

故障かな？と思ったら「8. 故障かな？と思ったら」（P.32）の内容をご確認ください。

それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはお客様ご自身で修理なさらないで、ご利用のサービス窓口の案内する問い合わせ先にご相談ください。

予告なく改版する場合がありますので、Web から最新の本マニュアルをご覧ください。



URL:<https://digitalkey.jp/freekeybox/manual/10>



株式会社東海理化電機製作所

〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目 260 番地

Copyright © 2021 TOKAI RIK A CO., LTD. All rights reserved.

2024 年 2 月 1 日 第 4 版発行